

# 巻末資料

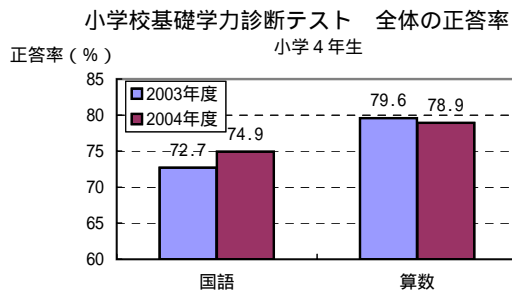
## 中期ビジョンデータ集

小学校の基礎学力	-----	1
全国の京都府不登校比率		
合計特殊出生率		
予定子供数が理想子供数を下回る理由	-----	2
年少人口と老年人口の構成比推移		
NPO法人の活動		
関西地域における大学発ベンチャーの設立件数	-----	3
観光入込客数と環境消費額		
完全失業率	-----	4
若年層の完全失業率		
ブロードバンドの普及率		
ごみの1人1日当たりの排出量の推移		
食品に関する主な事件・事故	-----	5
京都府刑法犯罪認知件数と検挙件数及び犯罪率		
児童虐待		
自殺者数	-----	6

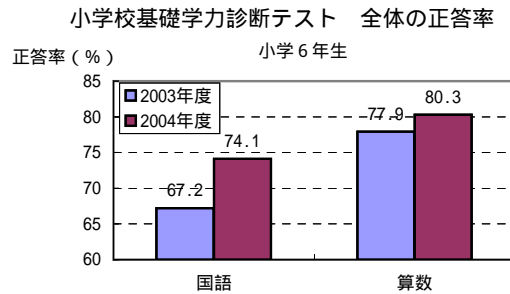
## 中期ビジョンデータ集

### 小学校の基礎学力

学力の低下が言われているなか、京都府では平成16年度小学校基礎学力診断テストを実施。2003年度と2004年度を比較すると正答率のアップがみられる。



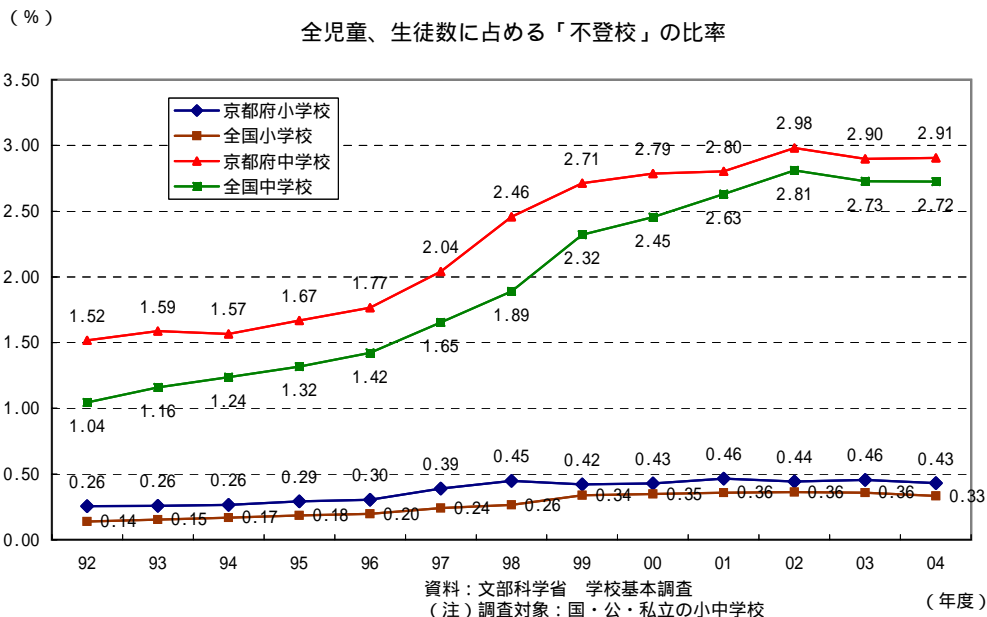
資料：京都府学校教育課  
(注)実施対象：府内全公立小学校（京都市除く）



資料：京都府学校教育課  
(注)実施対象：府内全公立小学校（京都市除く）

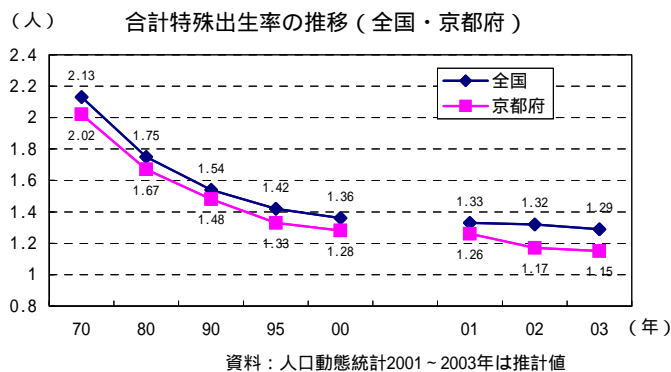
### 全国・京都府の不登校比率

小学校の不登校児童の出現率は近年横ばいの状況にあるが、依然として全国平均より高い値を示している。中学生の不登校生徒の出現率は2003年度やや減少したが、高い水準で推移している。



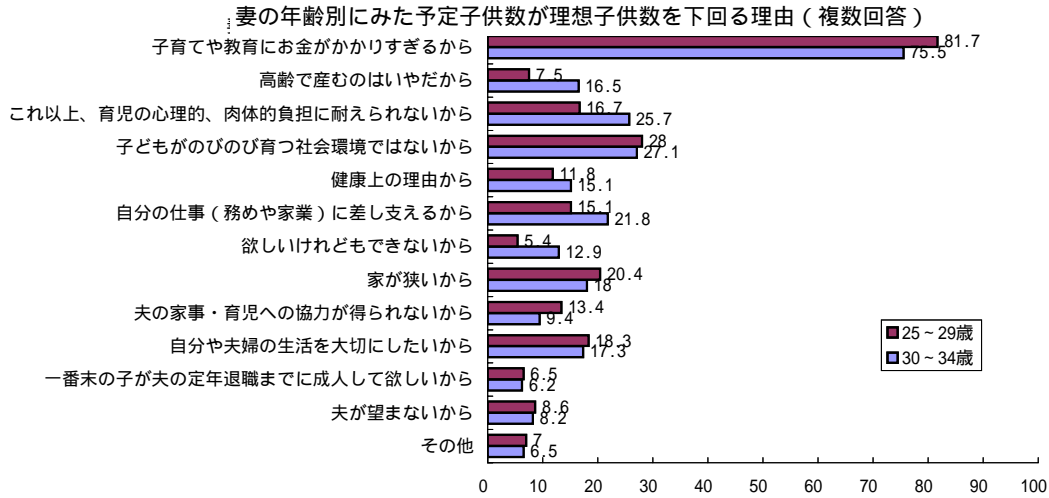
### 合計特殊出生率

合計特殊出生率は年々減少を続け、2003年には、全国1.29、京都府1.15まで減少してきている。



### 予定子供数が理想子供数を下回る理由

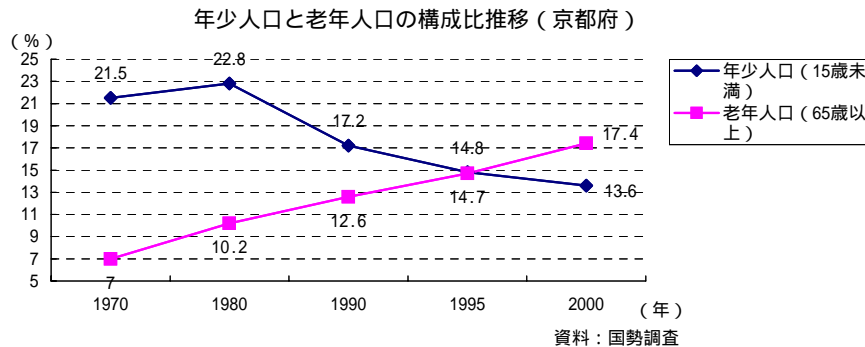
予定子供数が理想子供数を下回る理由として、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も大きな理由で「子供のびのび育つ環境でない」「育児の心理的、肉体的負担に耐えられない」「自分の仕事に差し支える」「家が狭い」「自分や夫婦の生活を大切にしたい」といった理由が続いている。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「第12回出生動向調査（結婚と出産に関する全国調査）夫婦調査」平成14年6月（%）

### 年少人口と老年人口の構成比の推移

年少人口（15歳未満）は年々減少し、2000年（平成12年）には約13%にまで低下している。逆に65歳以上の高齢者は年々増加し、約17%にもなっている。



資料：国勢調査

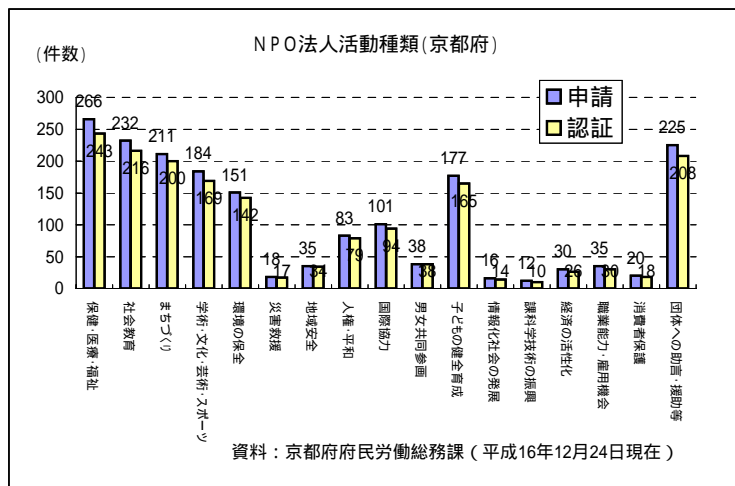
### NPO法人の活動

2004年12月24日現在におけるNPO法人の申請受理数は539件、認証されたものが500件となっている。NPO法人活動の種類として最も多い分野は「保健・医療・福祉」で、「社会教育」「団体への助言・援助等」「まちづくり」「学術・文化・芸術・スポーツ」「子どもの健全育成」と続き、幅広い分野で活動している。

#### NPO法人の認証数（2004年12月24日現在）

所在地	認証	所在地	認証
京都市	336	笠置町	1
福知山市	12	精華町	6
舞鶴市	13	南山城村	1
綾部市	6	京北町	4
宇治市	18	園部町	4
宮津市	4	八木町	3
亀岡市	9	丹波町	1
城陽市	15	日吉町	2
向日市	6	瑞穂町	3
長岡京市	18	三和町	1
八幡市	8	和知町	2
京田辺市	8	大江町	1
大山崎町	1	加悦町	2
久御山町	1	岩滝町	1
井手町	1	野田川町	1
木津町	5		
加茂町	2		
和束町	1		

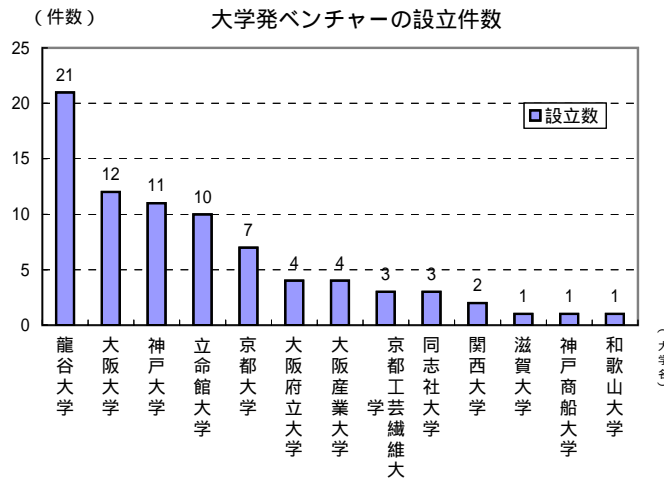
資料：京都府府民労働総務課



資料：京都府府民労働総務課（平成16年12月24日現在）

## 関西地域における大学発ベンチャーの設立件数

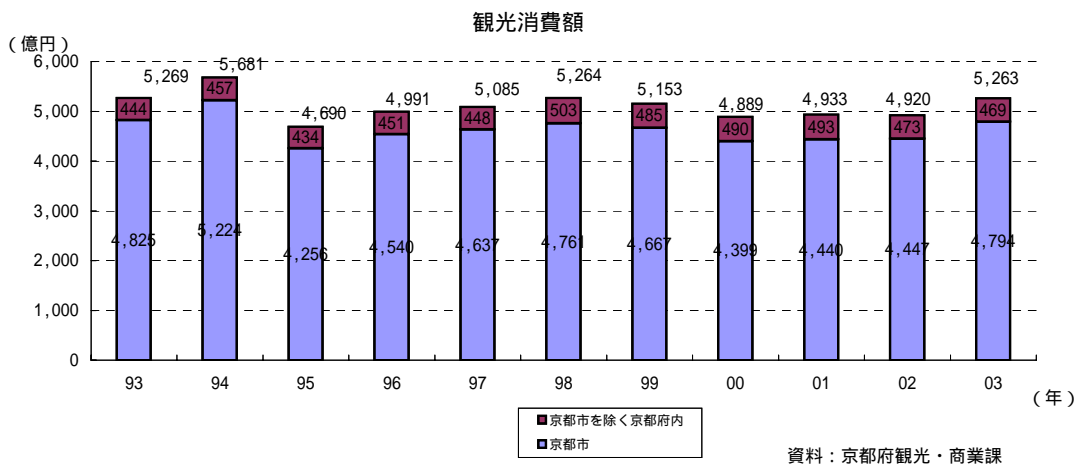
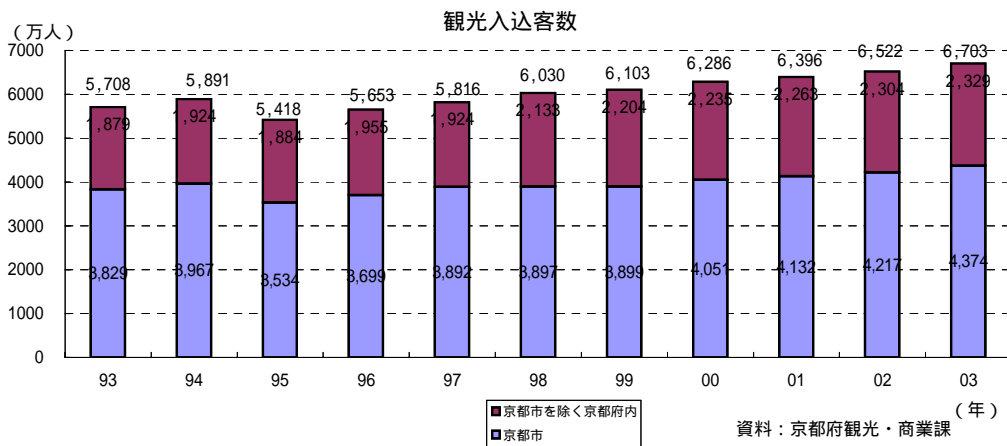
大学も持てる知的財産を活用し、積極的に企業経営に乗り出してきている。



資料：筑波大学産学リエゾン共同研究センター「大学等発ベンチャーの課題と推進方策に関する調査研究」(平成15年3月)

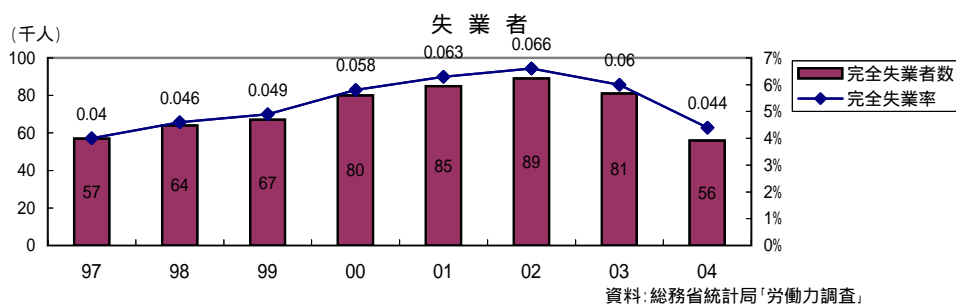
## 観光入込客数と観光消費額

平成15年の一年間に京都府を訪れた観光客は前年比2.8%増の6,703万人と過去最高記録を更新し、10年前の平成5年の5,708万人に対して約1,000万人増えている。観光消費額は、平成5年の5,269億円に対し平成15年は5,263億円と横ばいであり、今後、いかにして観光消費額を伸ばしていくかが課題となっている。



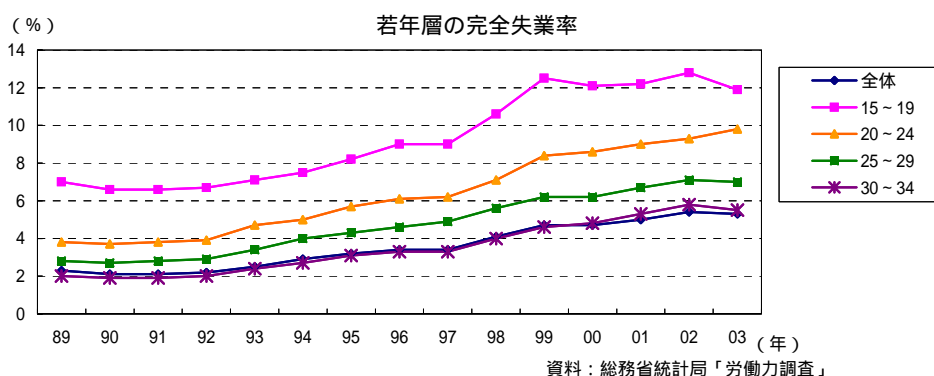
## 完全失業者

京都府における完全失業者数は、増加を続け2002年には8万9千人、失業率6.6%を記録したが、2003年には減少しだし、2004年には大幅な改善がみられた。



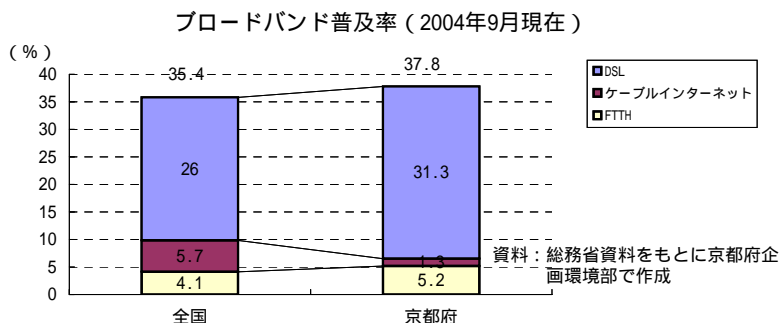
## 若年層の完全失業率

若年層の完全失業率は若いほど高く、15～19歳では2003年に11.9%となっている。



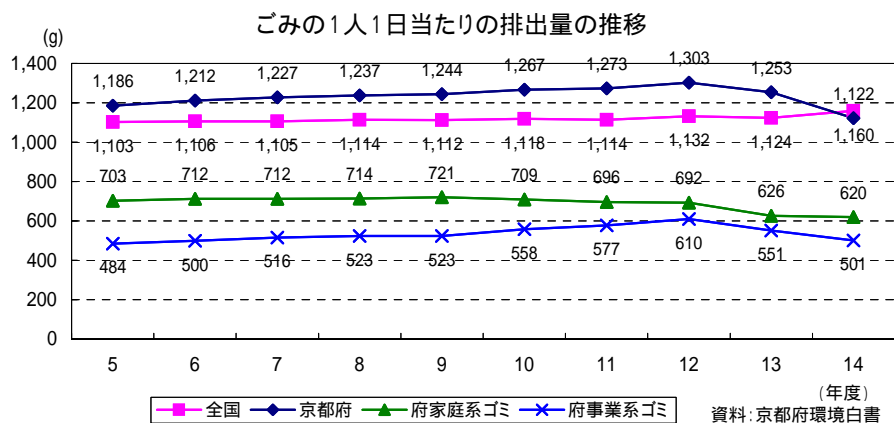
## ブロードバンドの普及率

ブロードバンドの普及率は全国より高く、2004年には4割弱となり、概ね3世帯に1世帯は契約している状態である。



## ごみの1人1日当たりの排出量の推移

ごみの1人1日当たりの排出量は平成13年度から減少し、平成14年度には全国平均より下回った。



食品に関する主な事件・事故

近年、国民の食に対する不安を増大させる事件・事故が相次いで発生している。

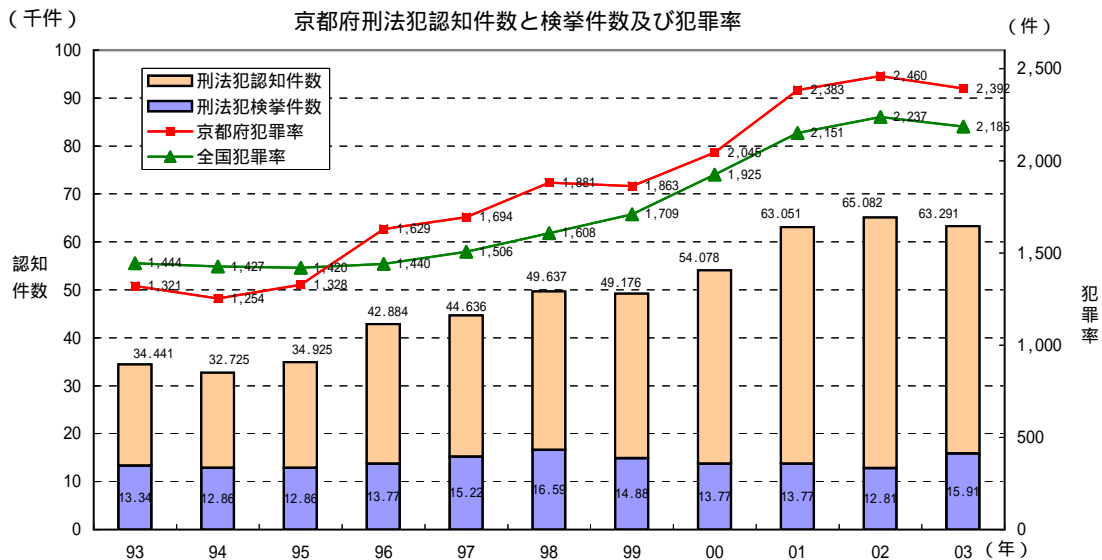
食品に関する主な事件・事故

年	食品に関する主な事件・事故
1996	・腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒事件
1999	・イカ乾製品のサルモネラ菌による広域食中毒事件
2000	・加工乳集団食中毒事件
2001	・BSE問題
2002	・牛肉偽装表示問題
	・輸入食品の残留農薬問題
	・未指定添加物（香料）使用問題
	・中国製ダイエット用食品による死亡者発生
2003	・無登録農薬の使用問題
	・アメリカでBSE罹患牛発見
2004	・卵の不適合表示問題
	・国内での高病原性鳥インフルエンザ発生
	・輸入野菜の産地偽装問題

資料：厚生労働白書

京都府刑法犯認知件数と検挙件数及び犯罪率

京都府の刑法犯認知件数は、2002年をピーク(65,082件)として、2001年以降6万件超と、高水準で推移している。

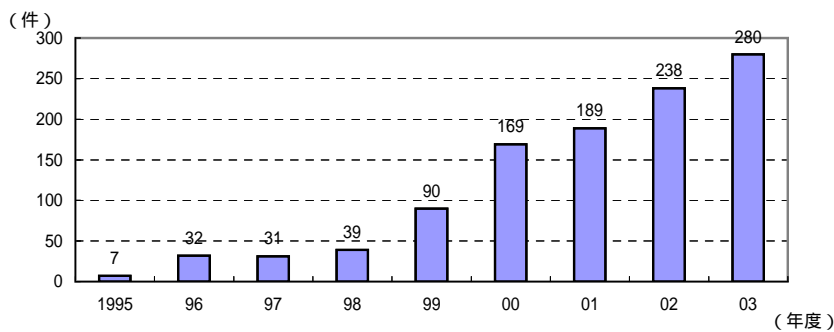


資料：京都府警察本部（犯罪統計書）

児童虐待

京都府内の児童相談所が受理した児童虐待の相談件数は、1998年以降急増している。

児童相談所の虐待受理件数



(注) 直接来所相談数  
資料：京都府こども未来室

## 自殺者数

京都府内の自殺者数も1998年に急増して、その後は600人前後で推移している。

